

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒541-8502

(連絡先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL (通話料無料) 0120 (094) 777

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ <https://www.kfc-net.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

単元株式数 100株

単元未満株式の買取請求受付場所 証券会社等ご利用の株主様はお取引の証券会社等へお申し出ください。
証券会社等ご利用でない株主様は左記特別口座管理機関にお申し出ください。

ホームページのご案内

Website



<https://www.kfc-net.co.jp/>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

第56期年次報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

KFC REPORT

時代のニーズに対応する、先進の技術を追い求めて



株式会社 ケー・エフ・シー

株式会社 ケー・エフ・シー

証券コード：3420

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。



代表取締役社長 高田 俊太

当社は2020年3月31日をもって第56期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の内容についてご報告申し上げます。

【企業理念】

- 一、私たちは信用を重んじ、社会の発展と豊かな環境づくりに貢献します。
- 一、私たちは時代のニーズに対応し、常に変貌する企業を目指します。
- 一、私たちは社員相互の信頼のもと、人材を育成し、希望に満ちた企業を創造します。
- 一、私たちは常に学ぶ姿勢を持ち、自己と企業の進歩、改善を目指します。

第56期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響による中国経済の減速や、中東情勢への懸念といった国外の経済動向や地政学リスク等の影響を受け、また国内においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直していた個人消費が弱い動きとなるなど、力強さを欠くものとなりました。

当社グループの関連する建設業界におきましては、公共事業を中心として、建設投資額は増加傾向であるものの、長時間労働の是正など「働き方改革」への対応や、建設技術者、技能労働者の慢性的な不足による労務単価の上昇、建設資機材の値上がりなどの不安要素も多く、業界を取り巻く外部環境は未だ楽観が許されない状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは、顧客ニーズを的確に捉えた技術提案型営業を鋭意推進し、高い顧客満足度を追求しながら商品の拡販と建設工事の受注に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、284億59百万円(前期比15.3%増)で、その内訳は、商品売上高が113億95百万円(前期比4.0%増)、完成工事高は170億63百万円(前期比24.4%増)となりました。

収益面につきましては、売上高の増加に加え、原価低減の取り組みも行ったことなどにより、連結経常利益は30億49百万円(前期比31.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は21億3百万円(前期比34.6%増)となり、過去最高益を更新いたしました。

今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、2020年の初頭から世界的に流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外における経済の先行きは不透明な状況にあります。

建設業界におきましては、リニア新幹線などの大型プロジェクト、インフラ補修など建設需要の拡大傾向により、受注環境は堅調に推移するものと見込まれますが、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響を見通すことは、非常に困難な状況にあります。

さらに少子高齢化に伴う人材不足、若年労働者の確保や働き方改革による労働環境の多様化など多くの課題を抱えている状況にあり、事業環境をめぐる見通しは例年以上に不透明となっております。

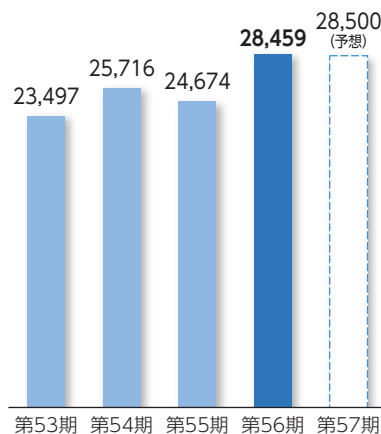
このような状況のなか、2020年度は、2018年5月に策定しました「ケー・エフ・シーグループ中期経営計画(2018～2020年度)」の最終年度にあたり、本計画の集大成として、常にオンリーワン技術にチャレンジし、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する「業界のリーディングカンパニー」を体現すべく、経営資源を有効活用し、経営基盤のさらなる強化を推進してまいります。

また、従来から取り組んでおります「本業の再強化」「持続的成長」「財務体質の強化」「コンプライアンスの強化」の4つの重点課題にも一層注力し、これらの取り組みを総合的に実現することによって、ケー・エフ・シーグループ全体の企業価値の向上に努めてまいり所存であります。

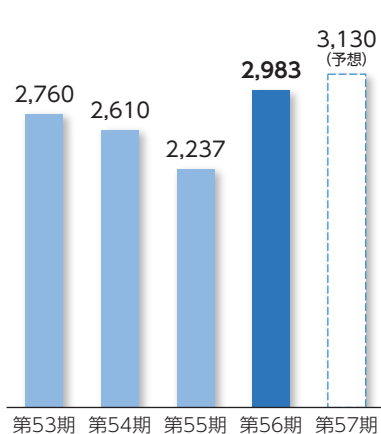
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高の増加に加え、原価低減の取り組みにより、過去最高益を更新いたしました。

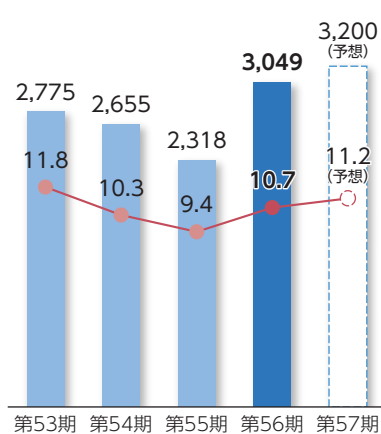
売上高 (単位: 百万円)



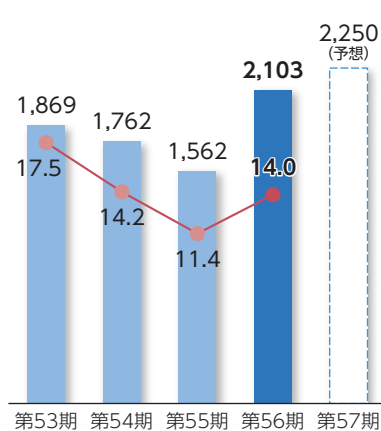
営業利益 (単位: 百万円)



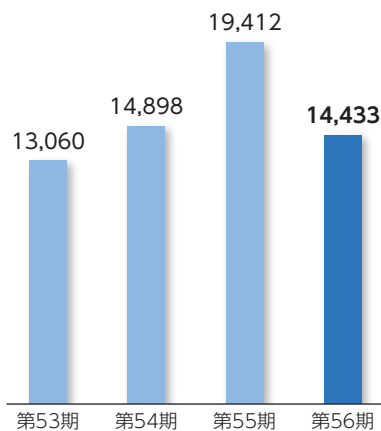
経常利益 (単位: 百万円) / 経常利益率 (単位: %)



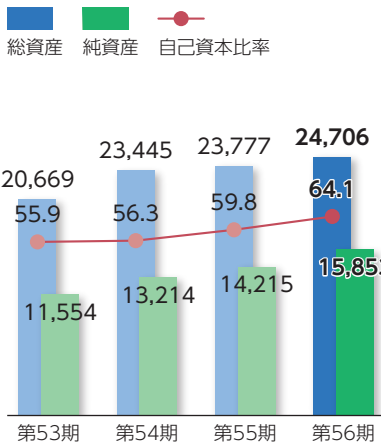
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円) / ROE (単位: %)



受注工事高 (単位: 百万円)



総資産 / 純資産 (単位: 百万円) / 自己資本比率 (単位: %)



事業部門別概況


ファスナー事業

売上高 **96億13百万円**

前期比 **8.2%** 増

33.8%

民間建築耐震工事及び鉄道関連工事の売上が増加するとともに、付加価値の高い「あと施工アンカー」をはじめとする建設資材販売も順調に推移し、また、「せん断補強RMA工法」の売上も堅調に推移いたしました。




土木資材事業

売上高 **76億75百万円**

前期比 **4.7%** 増

27.0%

一部の地域において、新設トンネル向けの資材に納品の遅れが発生いたしました。主要商品であるロックボルトの受注高は堅調に推移し、また、西日本地区においてトンネル補助工法にかかる資材の販売も順調に推移いたしました。




建設事業

売上高 **111億70百万円**

前期比 **32.1%** 増

39.2%

当社の得意とする環境対策工事において大型元請物件を受注したほか、トンネル耐火工事やトンネル補修工事において大型物件を受注いたしました。資材販売においては、新東名高速道路の設備工事に付随した「フェイルセーフシステム (取付物落下防止対策商品)」の売上が堅調に推移いたしました。



次の50年、100年も人々の暮らしを支え続けるために

1. 本業の再強化

原点回帰：技術力によって社会貢献を果たす

- ユーザー・施主のニーズに対応した技術提案型営業を強化
- 各現場からの意見を取り入れた新商品・新工法の普及、及び既存商品・工法の更なる改良

2. 持続的成長の実現

「量」から「質」への転換

- 品質とコストダウンを両立させるため、購買部を中心に全社集中購買体制を強化
- 選別受注による収益性・利益率を向上

3. 財務体質の強化

戦略的資本政策の構築

- 収益基盤強化と事業効率化により、将来にわたる安定的なキャッシュ・フローを創出
- 持続的成長を確保するために経営資源の適正配分と有利子負債の削減

4. コンプライアンスの強化

上場会社としての責務

- 変化する社会情勢に迅速・的確に対応するため、スリムな経営を行う
- 上場会社としての責務である法令を始めとした諸ルールを遵守する体制の構築

基本方針

「あるべき姿」
に向かって

業界に先駆けて高付加価値の製品・工法を開発し、持続的成長を可能にする企業グループ、高度な社会インフラ整備の実現に向け、常に「オンリーワン」技術にチャレンジし、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する専門家集団としての責務を果たしてまいります。

成熟分野

顧客・現場を重視した営業展開

- 研究開発を強化：差別化できる製品・工法を継続的に創出
- 人材の確保・育成強化：高品質な製品・工法を提供
- コンプライアンス体制の強化

成長分野

インフラ補修・補強への事業展開強化

新規事業

新事業の創出

「みえる」であと施工アンカーの施工品質を守る
KFCの「ホーク・ファスニング システム」

あと施工アンカーの品質を確保する、KFCのホーク・ファスニングシステム。
作業完了を明示する仕組みや正しい基準での目視確認を可能にする仕様により、
施工の確実性を向上。熟練作業員の減少や人材不足に起因する品質の低下から守ります。

<https://www.kfc-net.co.jp/hfs/>



Smooth Building X
The Higher Reliability

HAWK
FASTENING
SYSTEM



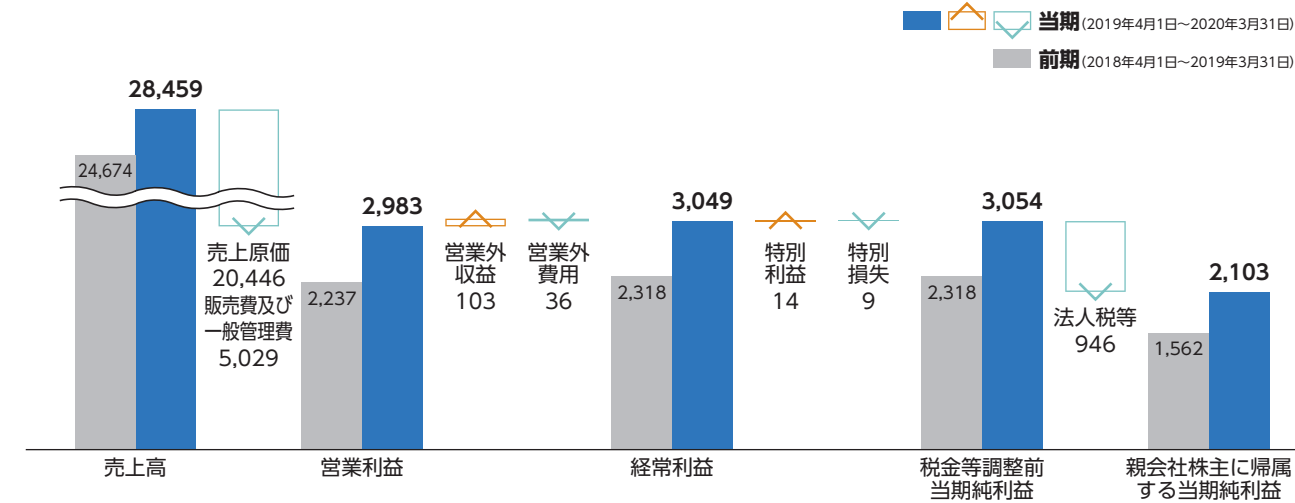
施工品質低下を未然に予防
▶ 熟練した作業員の減少 ▶ 熟練者のバラツキ ▶ 技能の個人差 etc...

「ホーク・ファスニングシステム」導入
誰が施工しても確かな仕上がりに

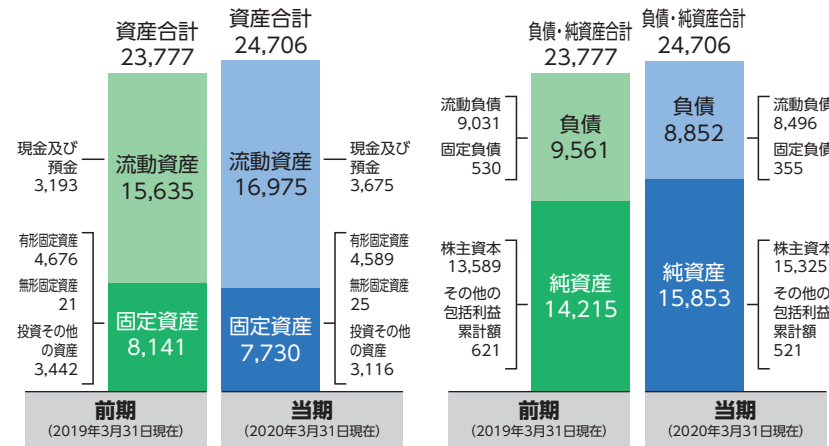
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

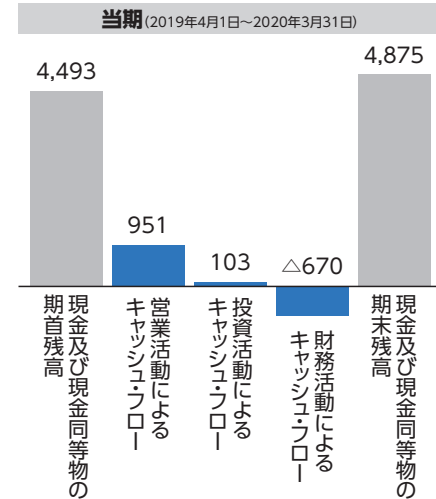
連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結貸借対照表 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



株式の状況

Stock Information

(2020年3月31日現在)

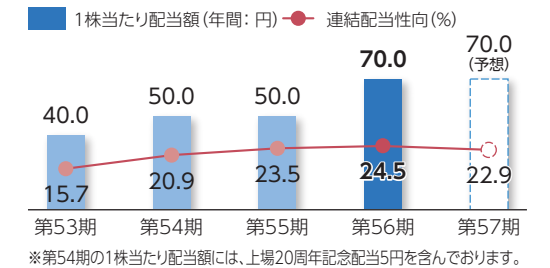
発行可能株式総数 18,970,000株
 発行済株式の総数 7,378,050株
 株主数 1,114名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高田信子	784,000	10.65
積水樹脂株式会社	777,000	10.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	595,000	8.08
高田俊太	395,100	5.36
ケー・エフ・シー取引先持株株式会社	356,700	4.84
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	4.41
デンカ株式会社	200,000	2.71
株式会社中外精工	174,700	2.37
エムエスティ保険サービス株式会社	150,000	2.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	138,800	1.88

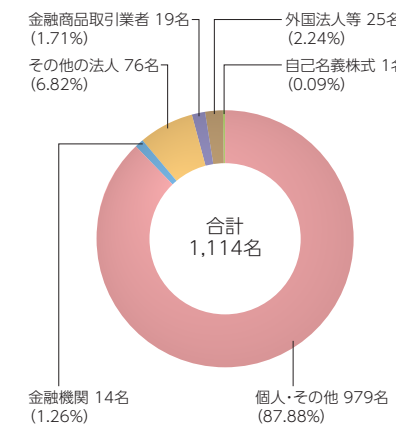
(注) 持株比率は、自己株式(18,318株)を控除して算出しております。

配当方針

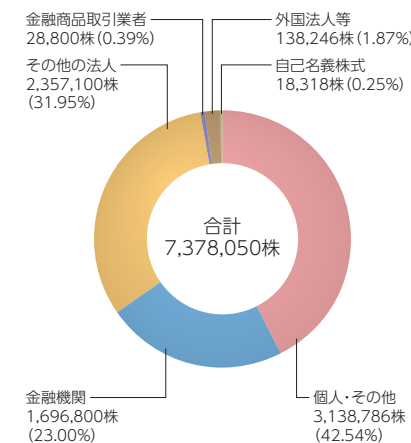
当社の配当政策は、安定的な利益還元を重視することを基本としておりますが、当該期の業績や今後の資金需要、財務状態も総合的に勘案し、株主各位のご期待にお応えしていきたいと考えております。また、内部留保金につきましては、有利子負債を削減し財務体質の強化を図るとともに、経営環境の変化に柔軟に対応するための設備投資や研究開発、新規事業の拡大などに有効活用してまいります。



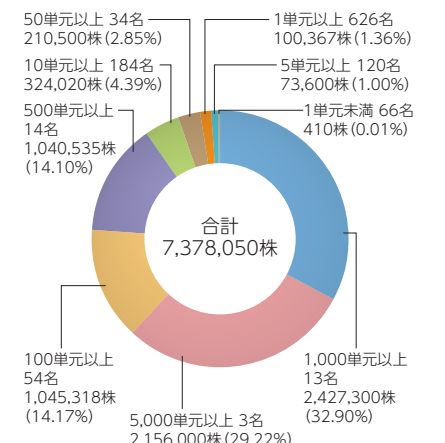
所有者別分布状況(株主数)



所有者別分布状況(株式数)



所有株数別株式分布状況

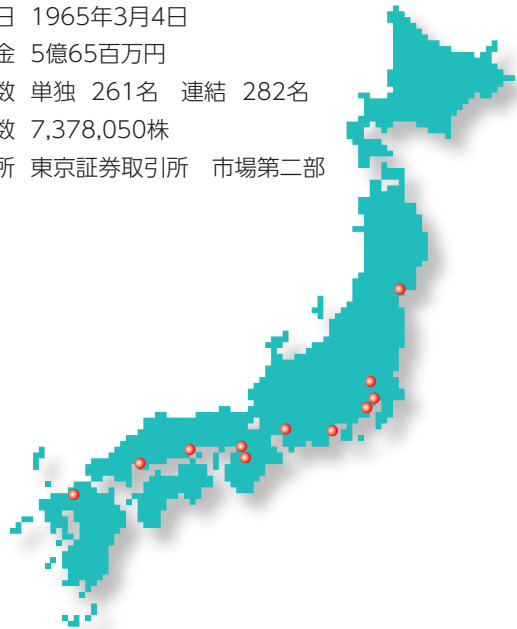


会社の概況

Corporate Profile

(2020年3月31日現在)

商号 株式会社 ケー・エフ・シー
 設立年月日 1965年3月4日
 資本金 5億65百万円
 従業員数 単独 261名 連結 282名
 発行済株式の総数 7,378,050株
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部



役員

(2020年6月19日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長(兼)執行役員社長	高田俊太
常務取締役(兼)常務執行役員	堀口康郎
常務取締役(兼)常務執行役員	羽馬徹
取締役(兼)執行役員	大平康史
取締役(兼)執行役員	石原淳
取締役(兼)執行役員	稲葉朗
取締役(兼)執行役員	石田裕宗
社外取締役	佐野裕
社外取締役	中桐万里子
常勤監査役	米田元彦
社外監査役	五島洋彦
社外監査役	渡部靖彦

執行役員

執行役員	村井良和
執行役員	千足裕一
執行役員	田村知幸

本店・本社

本店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4188

東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-8250
 芝パークビルB館11階

流通センター

大阪流通センター 〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL(0721)24-7511

関東流通センター 〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0091

技術研究所

〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0095
 〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL(0721)24-7511

営業所

東北営業所 〒981-3133
 仙台市泉区泉中央4丁目15番1号 TEL(022)772-3981

横浜営業所 〒224-0061
 横浜市都筑区大丸8番4号 TEL(045)949-5801
 都筑岩澤ビル

静岡営業所 〒422-8035
 静岡市駿河区宮竹2丁目14番10号 TEL(054)238-6688

名古屋営業所 〒461-0048
 名古屋市東区矢田南5丁目1番11号 TEL(052)711-8088

岡山営業所 〒700-0975
 岡山市北区今7丁目7番13号 TEL(086)243-5722

中国営業所 〒732-0811
 広島市南区段原4丁目5番2号 TEL(082)568-4750

福岡営業所 〒812-0016
 福岡市博多区博多駅南6丁目16番10号 第一小笠原ビル TEL(092)461-2735

連結子会社(国内)

アールシーアイ株式会社
 大阪本店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4362

東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-7570
 芝パークビルB館11階

連結子会社(海外)

唐山白翔建材科技有限公司
 本社工場 中華人民共和国河北省唐山市

Trust Safety Functionality

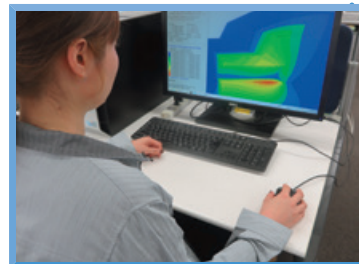
信頼・安全・機能性

時代のニーズに先進技術で応え続けて半世紀
 建設用アンカーのパイオニア



建築土木用アンカー製品からトンネル内装工事・サポートまで。
 当社では埼玉県加須市に全事業部門を横断的に統一した技術部門である技術研究所を設けています。それぞれの事業部からフィードバックされる情報、アイデアなどをもとに、新たな製品、技術、工法を開発するとともに、既存技術の異業種、他分野への適応などについても研究しています。

設計・技術開発



現場施工



現場からのフィードバックにより、さらに安全性と機能性を追求した新たな製品開発に取り組んでおります。